



石川県立羽咋高等学校 関東同窓会会報

Kizuna

第 20 号

2025 年 6 月



河本龍葉（51 回生）日本舞踊家・俳優

会員ネットワーク

飛翔！活躍する同窓生

部活紹介「弓道部」



【動き出そう！明日へ！】

関東同窓会 副会長 森村(倉部)睦子(26 回生 羽咋・島出)

能登半島地震発災から一年が過ぎました。被災された方々、大切な人を亡くされた方々に改めて心からお見舞いを申し上げます。

今年の3月に羽咋に帰省した折、七尾線の中で珠洲のご婦人と話す機会がありました。地震で家がつぶれ、ご親族を3人亡くされたそうです。「復興はまだです。でも他の所へは行きたくありません。今は夕方の晩酌が楽しみです」とちょっと恥ずかしそうな顔で「お話ができてうれしかったです」とにっこり笑ってくださいました。胸が熱くなりました。

あるはずのものが消えてしまい、いるはずの人がいなくなった時、必要なことは何か。それは、人と人が言葉を掛け合って動き出すことなのだと思います。地震以来、全国で多くの能登半島地震支援事業が展開されました。関東同窓会でも頻繁に情報が交換され、イベントが次々と実施されました。羽咋高校では厳しい環境の中で先生方と生徒の皆さんが声をかけあって前を向こうとしています。「立ち上がれ！能登」の看板に描かれた「絆」の筆文字の力強さや、旧帝大合格者現役生6名のニュースは私自身の励みにもなり、夫を亡くした悲しみから立ち上がって、今年度4月から教職に復帰いたしました。

現在、関東同窓会は、バイタリティーあふれる赤池典充会長を中心に活発に動いております。会報の「絆」には同窓生の皆様の現在のご様子が記されていますが、その多彩な活躍は目を見張るほどで、羽咋高校の人材の豊かさを実感しております。会員同士が交流を通じて互いに「羽高魂」の底力を知り、母校のために何ができるかを考える。そうした活動は私たち自身をも成長させてくれるに違いありません。

関東同窓会の人との和が広がり、故郷への支援の輪が広がりますように一人ひとりの力を持ち寄って参りましょう。



~~~~~



## 【新しき日本と吾等は在らむ ところしへに】

羽咋高校 校長 中川 久仁彦 (37 回生 宝達志水・上田)

関東同窓会のご尽力により発行されています「絆」を拝見するたび、同窓生の皆様のご活躍の様子が手に取るようにわかり、まさに絆を感じることができます。たくさんの応援を受け、日々の教育活動に臨むことができます。本当にありがとうございます。

今回のタイトルは、大好きな校歌の歌詞の一部です。本校百周年記念式典の際には、しおりの表表紙にも使わせて頂きました。古国能登にうまれて、これからの新しい時代のトップランナーとして歩いていくという使命が本校生徒には与えられているのだと解釈しています。

私自身を振り返りますと、腕立て伏せに明け暮れた高校時代、教諭としてはボート部、空手道部の顧問として全国に挑戦しながら、旧帝大への進学指導に打ち込んだ8年間、本校教頭として百周年行事を無事に終えることができた2年間。そして今回は、本校校長への赴任という運命を強く感じています。この使命を何とか果たしていくことに全力で頑張っていきたいと思います。

現在、本校は、一時期下がった進学実績を向上させるために、DX ハイスクールやSTEAM 教育、そして探究活動に力を入れ、再び好成績を収め始めています。姉妹校であるオーストラリアのバスコーストカレッジワンサギ校との国際交流やアプリ開発などにも積極的に取り組んでいます。これからも同窓生のご期待に添えることができるように日々努力を続けていきたいと考えています。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 第12回 現役部活動紹介 弓道部 顧問:山本美穂先生(63回生 羽咋・島出)

この度は、関東同窓会様より執筆の機会をいただき、誠にありがとうございます。

母校・羽咋高校で弓道部の顧問を務めて4年が経ちました。卒業後10年ぶりに母校の弓道場を訪れた際の感慨は、言葉に尽くせないほどのものでした。

しかし、令和6年度能登半島地震による甚大な被害を受けたため、弓道場の取り壊しが決定し、新たな弓道場の建設が予定されています。長年にわたり、多くのOB・OGの皆様が汗を流し、技を磨いてきた場所が失われることは非常に残念ではありますが、新しい弓道場の建設を前向きに捉え、さらなる発展の契機としたいと考えています。



現在、弓道部には男子16名、女子19名の計35名が所属し、外部指導者である本校OB・本多一康コーチの指導の下、「プロセスにこだわる」をモットーに日々練習に励んでいます。

今年度は特に女子部員の活躍が目覚ましく、県総体では女子個人で2位と5位に入賞。2位の選手は長崎インターハイに出場しました。また、同大会の女子団体戦では3位に入賞し、北信越大会に出場。団体戦ではベスト8に入り、個人戦でも3位と4位の成績を収めました。

秋の県新人大会では、女子団体が念願の優勝を果たし、石川県代表として全国選抜大会に出場。全国選抜では予選を突破したものの、決勝リーグ1回戦で丸亀城西高校に6-7で惜敗しました。しかし、「全国大会出場・予選突破」という目標を達成したことで、これまでの「プロセスに

こだわる」練習に自信を深めるとともに、新たな目標に向けて意欲を高めています。

さらに、今年度は国民スポーツ大会（国スポ）の少年女子団体に2年生女子1名が選出



され、北信越国スポで総合2位を獲得。佐賀県で開催された本大会では遠的競技で3位に入賞しました。各ブロック大会を勝ち抜いてきた強豪選手たちとの戦いを通じ、多くの学びを得る貴重な機会となりました。

弓道は結果として「中ったか、外れたか」が注目されがちですが、羽咋高校弓道部では、その結果に至るまでのプロセスを何よりも大切にしています。これは弓道だけでなく、人生においても重要な考え方だと思っています。努力の過程で培われる精神力や忍耐力、そして仲間との絆は、社会に出ても必ず役に立つものです。

今後も、部員たちには単に技術を磨くだけでなく、弓道を通じて人として成長してほしいと願っています。結果がすぐに出ないこともあります。諦めずに挑戦し続けた経験が、将来、彼らの人生の糧となることを信じています。

最後になりましたが、関東同窓会の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



## 飛翔！ ～活躍する同窓生～

首都圏小岩井牛乳協会会長 横浜市青葉消防団  
たまプラーザ商店会事業部長 石川県人会理事

北嶋克悦 (31 回生 羽咋・吉崎)



2022 年、我々の母校である羽咋高校が 100 周年を迎えました。この 100 周年事業は地元羽咋市と縁浅からぬ國學院大學折口信夫博士に作詞の労をとっていただいている羽咋高校校歌の一節である「羽咋の杜の鐘」をイメージしたデザインがシンボル・マークとして使用されました。

そして、その翌 2023 年には折口博士没後 70 年を記念した「折口学」探求考察を目的とする国民文化祭を羽咋市でつつがなく終えることも出来たのです。

しかし、そこからほんのつかの間ことです。故郷能登半島を想像もしなかった災厄が襲い、窮地に直面することとなったのです。2024 年 1 月 1 日「能登半島震災」が 1000 年周期とも言われるような大きな規模で我々の故郷を襲ったのです。

これまで帰郷の度に、自分の心を和まし、安らぎを与えるように迎えてくれた郷里の景観がその日を境に荒んだ光景へと一変し、故郷に住まわれる地元民たちの人情味に溢れたあの優しい表情にも暗い影を落としたのです。

・・・故郷へのご恩返ししなければならない、と思いました。

私が所属する羽咋高校関東同窓会、ふるさと羽咋会、石川県人会、能登ふるさと市実行委員会、他、各保存会等の活動を通じて我が故郷へのご恩返しをしなければならない必要性を感じたのです。

先ずは物産展などで「生の声」を届け、そして、またある時には「ネット配信」などの方法により、地元石川・能登・羽咋の状況を出来るだけ多くの方々に知っていただき、耳を傾けて下さる皆様からの真心のこもったご支援・ご協力を募って行く決意であります。

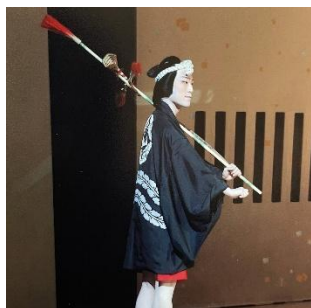


### 北嶋さんが能登復興支援活動を行った場所

|                                |                               |
|--------------------------------|-------------------------------|
| あざみ野商店会 能登地震復興支援物産展            | 青葉台南商店会 能登地震復興支援物産展           |
| 東京ガス 能登地震復興支援物産展               | 青葉区民祭 能登地震復興支援ステージ            |
| 都筑区民祭り 能登地震復興支援物産展             | 株式会社東急 早野チャレンジパーク 能登地震復興支援物産展 |
| 山梨県フルーツパーク 能登地震復興支援物産展         | 町田市先端技術パーク 能登地震復興支援物産展        |
| たまプラーザ桜祭り 能登地震復興支援物産展          | たまプラーザ夏祭り 能登地震復興支援物産展         |
| あざみ野夏祭り 能登地震復興支援物産展            | 桐蔭学園 能登地震復興支援物産展              |
| 東京都牛乳商業組合 義援金能登地震復興支援物産展       | 青葉区商店街連合会 義援金能登地震復興支援物産展      |
| たまプラーザ連合商店会たまプラ元気市 能登地震復興支援物産展 | 青葉消防団第 1 分団第 2 班 能登地震復興支援物産展  |
| 専修大学 能登地震復興パネル展                | 多摩川水神祭 能登地震復興支援物産展            |
| 鴨志田 能登地震復興支援物産展復興マーケット         | たまプラーザ駅福祉祭り 能登地震復興支援物産展       |

## 飛翔！ ～活躍する同窓生～

### 日本舞踊家:河本龍葉 (但馬俊之 51 回生 鹿島・中能登)



#### 【羽咋高校の思い出】

羽咋高校の思い出は 10 キロマラソンが感慨深く、千里浜の海を見ながら走る爽快感、故郷の大地を全身で感じて身体を動かしたことは、思い出す度に顔が綻びます。昔から運動、特に球技や走ることが大好きでした。10 キロマラソンでは人生を走り抜くのに必要な持久精神を養えたように思います。また文化祭や同級生との何気ない時間を思い出すと愛しく、勉強の楽しさとともに、お世話になった先生方や友人達の笑顔が、社会に出てからの夢を叶える推進力になったと思います。

#### 【日本舞踊家へ】

羽咋高校卒業後に航空自衛隊に入隊し、その後に映画美学校に入りました。ある映画の歌舞伎シーンに訳も分からず衝撃を受け、友人(後の妻)にその話をすると「私のお父さん、歌舞伎の演出やってるよ。舞台見に行く？」と誘われたのが縁で、日本舞踊の世界へ飛び込みました。

何がきっかけになるか人生わからないものです。知らないことを知る喜び、日本文化を奥深く知れることにワクワクしていました。銀座のお座敷で 10 年間踊りましたし、海外 13 ヶ所にて公演しました。好奇心や探求心を満たせる何かに出会えた時に、人は自分の持っている力以上のものを発揮できるのかもしれない。



#### 【表現活動】

石川県を舞台とした TV ドラマ「花嫁のれん」の日本舞踊指導をしました。主演女優の方々に指導するのは緊張しましたが楽しく、それからモー娘などのアイドルと舞台をご一緒したり、TV で踊るようにもなりました。

またフラメンコや浪曲や島唄など異ジャンルとコラボレーションするのも刺激的でした。舞台もライブハウスから国立劇場まで出演し

ながら、NHK「荒神」の所作指導、そしてハリウッド映画「KATE」に出演しました。俳優経験がなくてもハリウッド映画に出演する事は出来ます。日常以外の経験をすることで、視野が広がり沢山の可能性に気付けるようになるので、何事もやってみる事が大切。ビジネスクラスで渡航して海外で仕事するのに当時の僕は戸惑いましたが、その経験はまた今の活動に生きています。

コロナ禍の時にはドラゴンスターアクトークラブを立ち上げて 2 年続けてフェスを開催し、その後は日本映画に俳優として出演したり、舞台に出演しています。日本舞踊家になり 23 年になる現在、主に TikTok 配信を通じて日本舞踊を広める活動をしています。常に挑戦する気持ちを忘れないでいたいからです。日本の視聴者だけでなく海外の視聴者にも Live 配信で届けられることに可能性を感じています。今も挑戦の毎日です！



## 飛翔！ ～活躍する同窓生～

声 優: 寺 島 拓 篤 (54 回生 宝達志水町・子浦)



まずは、昨年の能登半島地震で被災され、今なお大変な状況にある皆様、またその関係者の皆様へお見舞い申し上げます。

校舎にも被害があり一部使用ができなくなったという報せを受け、驚きと悲しみに胸を痛めております。

私自身は 2001 年に卒業し、現在は東京で声優をしています。遠くの地にあっても強く故郷を思っているのも、なんとか力になれるかと模索し、寄付を募るなどの手は尽くしております。大変な状況はまだ続くと思いますが、共に乗り越えられるようこれからも尽力いたします。

さて、ここからは私の話をさせていただきますね。羽咋高校に通っていた頃の思い出として強いのは、所属していた演劇部での活動です。小学生の頃から漫画やアニメが好きだった私にとって、

演劇というものは近くて遠いような存在で、しかし人前に出るのが特段好きではなかった私には縁が無いものと思っていました。きっかけは、同級生づてで自主公演の手伝いを頼まれた事。当然ながら舞台に立つ役者ではなく、照明や音響、はたまた雑事に走り回るような、まさしく手伝いをするつもりで、一時的に籍を置くことになると思っていたのですが、気がつけば舞台上でお芝居をしていました。今となっては事の経緯を思い出すこともできないのですが、おかげで今の仕事に結びついているので、当時誘ってくれた友人と、流れに乗った自分自身に感謝したいです。



かたや学生の本分である勉強はといえば、恥ずかしながら誇れるようなものはなく、理数系に関しては本当にからっきしで、今となっては先生方に謝罪してまわりたいほどです。

そんな中でも、3 年時に選択した倫理の授業が印象深いです。歴史上の偉人たちの言葉から学んだ、物事を多角的に見て思考することは、声優という明確な答えや計算式がない仕事をする上でとても役立っています。学生時代に得たものが思いもよらない形で我が身を助けているのだと、こうして振り返ることで改めて感じます。

創立 100 周年で制作された百年史に寄稿させていただいた際にも感じましたが、これを読んでもださっている皆様と同じく、私も羽咋高校の歴史を作る 1 ピースです。その事を誇りに…というところ少し堅苦しくなってしまうのでしょうか。とにかく羽咋高校の生徒になれて良かったですし、羽咋高校にとってもこんな生徒がいて良かったと思ってもらえるような人でありたいです。

どこかで人生が交わる時には、母校の今昔話に花を咲かせましょう。

### 【代 表 作】

- ・うたの☆プリンスさまっ♪(一十木音也)
- ・転生したらスライムだった件(三上悟)
- ・創聖のアクエリオン(アポロ/アポロニアス)
- ・ログ・ホランイズン(シロエ)
- ・魔法科高校の劣等生(西城レオンハルト)
- ・アイドルマスター SideM(天ヶ瀬冬馬)
- ・EDENS ZERO(シキ・グランベル)
- ・AYAKA - あやか - (沙川尽義)
- ・わんだふるぷりきゅあ! (兎山悟)
- ・バーテンダー神のグラス(佐々倉溜)

# 飛翔！ ～活躍する同窓生～ イベント案内 是非 会場へ足をお運びください！

## はたく 葉拓書道家 **桜鱗** おうりん ～第9回～個展【されど雑草】

葉拓書道家、桜鱗による個展を東京と地元石川にて開催致します。  
東京、石川では約2年振りの開催となる今回の個展は、新作を多数  
交えての展示となります。2024年元旦の震災の経験から、新たに  
桜鱗の中に生まれた死生観。死を近くに感じたからこそ、生きること、  
生み出すことを渴望し、自らの命の在り方を模索する自分がいました。  
作品は私自身の“今”を切り取ったものでもあり、個展は自問に対する  
一つの自答を表現する場でもあると思います。そこにお立ち会い下さる  
皆様が何を思い、何を感じて下さるのか。そして、桜鱗の作品との  
出逢いが明日へのささやかな活力になったなら、こんなに嬉しいこと  
はありません。作品を通じて、会場で皆様と共有できる時間を心より  
楽しみに致しております。是非、この機会にご高覧下さい。

(49 回生 中能登・金丸)



《東京》 入場無料

**2025年8月28日(木)～8月31日(日) ■11:00～18:00** (28日は13:00～)  
【ブレイメンハウス】〈〒111-0032 東京都台東区浅草1-37-7〉

《石川》 入場料 300円 (本堂拝観料として)

**2025年9月20日(土)～9月28日(日) ■9:30～16:30**  
【洞谷山 永光寺】〈〒925-0074 石川県羽咋市酒井町イ11〉

## サガキケイタ 個展「夜明けの明星」

(54 回生 羽咋・富永)

**2025 年 11 月 12 日 (水)～11 月 24 日 (月) [最終日:午後 5 時終了]**



この度、日本では2年ぶり、通算すると  
13 回目となる個展を、今年の秋に開催し  
ます。今回の個展では、明治期に活躍  
した洋画家達の作品をモチーフに制作  
した新作を中心に、15 点ほどを展示  
予定です。是非ご覧いただけますと幸い  
です。

「読書 (Read Between The Lines)」  
2025 年



▲こちらからも HP  
にアクセスできます

〒103-8001 東京都中央区日本橋室町 1-4-1

日本橋三越本店 本館 6 階 コンテンポラリーギャラリー

展示の情報は随時ホームページや SNS で更新していきます  
サガキケイタ オフィシャルホームページ▶ <https://sagakikeita.com>  
インスタグラム▶ [https://www.instagram.com/sagaki\\_keita](https://www.instagram.com/sagaki_keita)

# 「米寿記念・同窓懇親会（7回生）」

会場:栗津温泉「旅亭懷石・のとや」 日時:2024.10/31(土)～11/1(日)

例年5月に開催していた【第7回生(昭和30年卒)の在京有志懇親会】は、かの忌まわしいコロナ騒動等もあり、去る平成29年秋の「80歳傘寿記念・軽井沢懇親会」を最後に、暫く開催を見送っていましたが、昨年10月末に7年振りに開催致しました。

歳月の流れるのは早いもので、昭和30年春、あの懐かしき御陵が丘の学舎を巣立ってからもう70年近く、お互い米寿を迎える年代となり、何人かの方々がご他界される等誠に残念な思いが尽きない中、「元気な方々も多く居られる内に、今一度、最後？の顔合わせ会を企画しては・・・」との話となり、「米寿を記念」と題した懇親会を北陸新幹線の開通で至便となった加賀・栗津温泉で開催した次第であります。

昭和30年春卒業の第7回生は、総員368名の多くを数える元気者揃いでしたが、流石に寄る年波には勝てず・・・で、ご不幸にも彼岸に旅立たれた方も多く、又、足腰が弱まったり、体調不良になったりする方も段々増えてき



ているのが現状です。今回、ご案内の返信は1割弱の30名に止まり、浮世の習いとは言え些か寂しい思いを拭い得ない次第でしたが・・・。

ともあれ、お集りの猛者連は、久方振りの顔合せでもあり、盛り沢山の料理に舌鼓を打ち酒杯を傾け合いながら、カラオケで日頃鍛えた自慢の歌声を披露し合い、其処此処に、田舎弁も飛び交い、久闊を叙し、故郷を偲び、往事を懐かしむ話題に華が咲いたことでした。

時の過ぎ行くのも忘れての楽しい雰囲気のうち、最後に懐かしの「高校三年生」を合唱して閉幕となり、又、来年以降も元気者が声掛け合い、継続して開催していくことを約束し散会となりました。

翌年・令和7年秋は10月頃に、場所を、能登半島大地震禍からの復旧予定？の和倉温泉に移し開催を予定しておりますので、友人・知人を誘い合わせて多勢の方々のご参会を期待する次第であります・・・。



(文責 世話役・治郎堂 実)

【参加会員のご紹介】 男性8名・女性4名 合計12名 順不同 ( )内は出身の旧町村名



- [関東地区]＝石田登志夫(押水・宝達)・治郎堂実(加茂・安津見)・高見桂三(羽咋・本町)・伊藤 和(羽咋・千里浜)・丸山邦子(羽咋・千里浜) 以上 5名
- [関西地区]＝橋本孝司(羽咋・兵庫) 以上 1名
- [北陸地区]＝勝二国郎(押水・紺屋町)・長谷安治(津幡・牛首)・牧野克己(高浜)・水本満(押水・河原)・小原淑子(羽咋・四町)・小杉峯乎(羽咋・四柳) 以上 6名

## 「 32期 同 窓 会 に 参 加 し て 」

会場:ホテル日航金沢 日時:2024 年8月12(月)



長かったパンデミック騒ぎが終わり、ようやく普段の生活に戻り始めた矢先に起きた能登半島地震。今回の同窓会を企画・実行してくださった同期の方々も、ご自身やご家族、ご親戚、あるいは職場で被災された方がいらっしゃったことでしょう。この同窓会を開催するにあたり、どれほど悩まれたことかと思えます。しかし、参加者全員が同じ悲しみを

共有していたからこそ、何年ぶり、何十年ぶりに再会した皆が、より深く心を通わせることができたのかもしれません。これまでで最も温かい絆を感じられた本会でした。

今回の同窓会には、迷わず出席を決めました。故郷での大震災を経験し、当たり前の日常の大切さを改めて実感したからです。そして、青春時代を共に過ごした旧友に「会える時に会っておかなければ」という思いが強くなりました。誰にでも、あの頃、話したかったのに話せなかったこと、謝りたかったこと、今だからこそ言えることがあるのではないのでしょうか。

それでも、ホテルで受付を済ませ、会場に入るまでは不安でいっぱいでした。皆、それぞれ辛い思いを抱えているだろう。久しぶりに会う旧友たちとうまく会話ができるだろうか — そんな思いが脳裏をよぎりました。でも、その不安は杞憂に終わりました。

まずは同じテーブルに座った人たちと話し始め、それが隣のテーブルへと広がり、やがて会場全体へと広がっていきました。まるで昨日まで一緒にいたかのように、会話は弾みました。懐かしい高校時代の失敗談、盛り上がった文化祭の話題、怖かった先生のこと。仕事や家族の話。事務局の方々が楽しいゲームを企画してくださり、大きな会場は笑顔に包まれました。校歌を皆で歌うと聞いたとき、もう忘れてしまって歌えないのではないかと思います。



しかし、メロディが流れた瞬間、全く忘れていなかったことに驚かされました。皆も同じだったでしょう。サプライズで、2年生の時の担任の平野道雄先生が来て下さいました。しかも、先生は実家にご近所で以前からお世話になっている方です。その姿を見た瞬間、本当にこの同窓会に参加してよかったと、心から思いました。

その後、私は二次会にも参加しました。二次会のゲームは全員が参加し、まるで子供のように夢中になって楽しみました。そして最後には、故郷・能登と母校への愛にあふれる温かい時間となりました。



辛い震災を乗り越えて、この同窓会を企画し盛り上げて下さった事務局の方々には、心から感謝の気持ちでいっぱいです。

これからも新たな困難が私たちを待っているかもしれませんが、だからこそ、たとえ普段は離れていても、大切な時に支え合える仲間や共同体の存在の意義を、皆が様々な辛いことを乗り越えてきた今だからこそ、深く実感しています。この会で再び繋がった絆を、これからも大切にしていけたらと思います。

文責：藤原仁美



**講演会 演題「どうなる？羽咋高校」**  
**～学力重視の小さな市町で感じること～**  
**講演者 宝達志水町立宝達中学校 教頭**  
**大乘 勇二(39 回生) 宝達志水・子浦**

39 回生の私たちが過ごした 1984 年から 86 年は、まさにこれからバブル景気が始まろうという時期でした。羽咋高校も 1 学年 360 人、全校生徒は 1000 人を超す大所帯。パワーも勢いもある時代だったんだなあ、と今になって思い起こします。

私が大学生になってからのバブル期は「24 時間戦えますか？」の CM が流れる景気の絶頂期。そんな身を削って働くことを嫌って、趣味を満喫できる地方ライフを描いて地元に戻ってきました。そして、教員としての生活をスタートしましたが、描いたライフスタイルは 10 年と続きませんでした。中学校教師になった 2000 年代は連日部活動漬けで、まさに 24 時間戦う生活が待っていたのです。

ところで私が勤める宝達志水町は、羽咋市と並んで「学力が高い町」と言われています。毎年の全国学力調査で石川県は常に上位ですが、その石川県の上位が羽咋地区です。右の問題は、おばあさんが「全然～」の言い回しに違和感があることについて自分の意見を述べる問題。これに答える力が、今求められている「学力」なのです。

私は羽咋地区の学力の高さの理由は、「地域性」と「県民性」にあると思っています。実際に勤務してみて分かるのは、まず、生徒を鍛えるより先に先生を鍛えています。教員の授業力を上げ、良質な問題を活用し、生徒の頑張りには検定取得に補助金をつけてバックアップする。そんな地域性が、学力向上につながっていると思います。



そして石川県あるあるとして有名なのが「通知表渡し」。石川県民なら、通知表は親が、中 3 なら親子で（いわゆる三者面談）もらうのが常識。でもこれって全国では稀な風習。これにより石川県の親は、必ず年に 2, 3 回は、担任の先生としっかり面談する機会が設けられる、ということです。ここでの面談で、生徒と親と教師との信頼関係が生まれ、学力アップにつながるのではないかと思います。

最近の羽咋高校は、1 学年 160 人となり、以前のような 1000 人体制の学校ではなくなりました。加えて少子化の影響、私立高校の台頭や、交通の発達によって金沢方面に流れる生徒も多くなりました。また、多様性の時代と言われるようになり、私たちの高校時代では想像すらできなかったライフスタイルや価値観が認められてきています。私は中学校教師として、しっかりと学力をつけて高校に送り出していくのが仕事です。生徒がどんな高校を選び、どんなライフスタイルを送っていくのか。羽咋高校を選んだ生徒は、これからの時代に向かって 1 人 1 人がいろんな色で輝く羽咋高校生になっていくことを期待しています。

令和6年度

# 羽咋高校関東同窓会 総会・講演会・懇親会

令和6年9月28日(土)

アルカディア市ヶ谷(私学会館)

令和6年度総会は、羽咋高校同窓会本部、羽咋市、宝達志水町及び石川県人会からの来賓の方々を含め、会場71名、ズーム8名の参加となりました。

総会では、本校・本部同窓会の更なる発展に寄与するとの赤池会長の挨拶に始まり、轟千栄子同窓会本部会長からご挨拶を頂きました。井上政人校長からは、能登震災の過酷な状況にも関わらず旧帝大といわれる大学へ6名の合格者がでたこと、また、進学指導の取り組みについてお話がありました。

講演会では、大乘勇二宝達中学校教頭が「どうなる羽咋・羽咋高校」～学力重視の小さな市町で感じたこと」のタイトルでご講演され、羽咋高校の今後の考え方、意識のあり方のご提案もいただきました。

懇親会では、鳥毛茂則氏(高6)の挨拶の後、川口哲治羽咋副市長、松栄忍宝達志水町副町長がご挨拶をされ、楽しい懇談会となり、最後に昨年度の総会に続いて折口信夫氏が作詞された羽咋・二水・大聖寺高校の3校の校歌を「校歌3兄弟」として、応援歌と共に参加者全員で合唱し、令和6年度総会を盛会のうちに終了致しました。

二次会は約 40 名が参加し、会場近くの居酒屋でさらに親睦を深めることができました。



令和5年度会計報告(令和5年9月1日～令和6年8月31日)

| 収入の部         | 金額        | 内 容                   |
|--------------|-----------|-----------------------|
| 総会・講演会・懇親会会費 | 846,377   | 懇親会会費、同窓会補助           |
| 寄付金          | 12,000    |                       |
| 本部助成金        | 400,000   |                       |
| 広告料          | 195,000   | 絆(名刺広告・伝言板)           |
| 預金利息         | 9         |                       |
| 前年度繰越金       | 131,536   |                       |
| 収入合計         | 1,584,922 |                       |
| 支出の部         | 金額        | 内 容                   |
| 総会会費         | 846,377   | 会場費、飲料費、スクリーン代、吊看板代 他 |
| 会議費          | 37,830    | 役員会はZoomで開催の為、会場使用せず  |
| 事務費          | 156,170   | 事務消耗品、宅配料交通費補助、新聞広告費  |
| 通信費          | 82,829    | 切手、はがき、レターパック         |
| 本部・支部交流会費    | 205,627   | 交通費、会費                |
| 会報「絆」費       | 247,765   | 19号(制作費・印刷費・送料)       |
| 支出合計         | 1,576,598 |                       |

【次期繰越金】8,324 円 1,584,922(収入合計)－1,576,598(支出合計)

## 西井信夫先輩を偲んで

2回生西井信夫相談役が3月31日早朝、波乱に富んだ人生の幕をおろされました。宝達志水町宝達の出身で長らく東京押水会会長や島津製作所協力会会長を務められ、石川県人会にも多大な貢献をされました。

西井さんとは吉田実君に誘われ、関東支部同窓会に参加し挨拶に伺ったら「そうか。上田生まれか。何回生?ま〜飲め」が最初で以来57年の付き合いになりました。

同窓会はそれまで代々の支部長からの多額の援助で開催していましたが、西井事務長の肝入りで“絆”の前身である会員名簿を発行し広告収入と会費で運営となりました。OBによる講演会や学生千円会費も実現し現在も続いています。

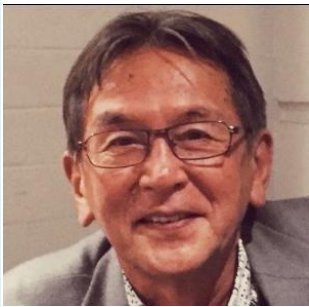
巣鴨の自宅に若手を集め「ドンドン意見を出し、実行しよう」と発破をかけられ、毎回寿司と酒をご馳走になり、たまに雀卓を囲みました。

20年前、里見元会長の提案で会報“絆”を発行する事になり、同窓会に前田家18代御当主に出席戴き、創刊号に掲載しようと決定。西井さんが七尾での県人会全国大会の家路、飛行機の中で御当主と日本酒を呑みながら希望をお伝えし内諾を得ました。しかし御当主が県内高校同窓会に参加の前例がなく、県人会役員に反対されるだろうとなったが、西井さんに「心配するな。実現させるからお前も来い」と言われ、県東京事務所長宅に県人会副会長 S.M さん達と集合(私は水割りやロックの氷担当)し、講演会なら良いのではとのアドバイスを貰い、後日山上さん、里見さんと霞ヶ関ビル33階に前田様を訪ねて御了承戴きました。

通夜の終わりに、北嶋くんの発声で羽咋高校歌・応援歌を後輩達が歌ってお送りし、納棺前に“永い間大変お世話になり有難うございました、次代に継ぎます”と寄せ書きし、ふるさと会大崎会長が“絆”19号と一緒に納めました。島津各部署からの会葬・生花や弔電があり、同窓会・ふるさと会だけではなく仕事でも若い人達を大事にされたんだと感じました。“生涯現役!若人頑張れ!”を貰われました。ご冥福をお祈りいたします。合掌

(赤池 清 20 回生 宝達志水・上田)





## 30年前 阪神・淡路大震災での衝撃

(株) UK 総研 顧問 元：(株) コンステック代表取締役社長

中村 洋行 (20回生) 宝達志水・小川

昨年1月に発生した能登半島地震は、地域コミュニティーを壊滅する被害をもたらし、9月には追い打ちをかけるような、水害被害で避難者の生活状況をさらに悪化させました。

日本の地震記録で最も大きいのが2011年の東日本大震災(マグニチュード9.0)、2番目が1923年の関東大震災(マグニチュード7.9)、そして3番目がマグニチュード7.6の能登半島地震です。ゼネコンの研究所に勤務していた私は、地震発生の際に建物被害調査を行いました。その中で、30年前の阪神淡路大震災(マグニチュード7.3、死者6500人弱)では忘れられない凄惨な体験をしました。地震発生4日後に、名古屋支店の調査団と合流し現地へ向かいました。途中、大阪港よりホーバークラフトで神戸港へ移動し、神戸東急インを拠点とし、主に神戸市長田区の被害調査を行いました。

3日間燃え続け82万㎡が焼失した長田地区は、焼け焦げた臭いが充満した中に、亡くなった人に捧げる線香の臭いが入り混じっていました。映像では伝わらない異様な臭いと、悲惨な姿に打ちのめされました。道路事情で帰りの送迎車が到着せず、当時1700人も避難していた長田区御蔵小学校校庭で、避難者の方々と共に野宿をしました。

能登半島地震の地殻変動は輪島海岸で5.1mの隆起、珠洲では逆に1.1mの沈下の報告があります。これが七尾から邑知潟に沿って宝達山裾野まで伸びている「邑知潟断層帯」そして「森本・富樫断層帯」にどのような影響を与えたか解かりませんが、震災前の予防、震災時の命を守る心構え、震災後環境を整える備えが必要です。

最後に、被災された地域の一刻も早い復興を、お祈り申し上げます。



## 同窓会初参加で思う 旧友のありがたみ

金融コンサルタント

現：株式会社プレナス代表取締役

坂田 博 (25回生) 羽咋・柴垣

昨年1月の能登地震。羽咋から離れてから52年、現在、千葉県に在住し、縁も薄くなってきた生誕の地の母校に何かできないか、と相談すべく、昨年の同窓会に羽咋高校卒業後初めて参加させていただきました。

証券会社のヨーロッパ駐在中にパリで買い求めました絵画が押し入れに眠っておりまして、母校の廊下にでも飾ってもらえれば、というのが趣旨でありました。その席で、井上校長に快諾をいただき、後ほど、寄贈させていただきました。初参加に

際し、高校同期で、同窓会副会長の山川富雄氏がいましたことは心強い限りで、運営委員の皆様にも深く感謝申し上げます。

私の高校時代は、かなりいい加減な生徒で、高校2年の学力テストで300人中250番程度の成績で、これまで成績のことを一切言われたことのない母親に初めて叱責をされた記憶があります。卒業後、母方の従弟の内装業を東京・世田谷で手伝いながら、午前中、予備校に通い、翌年、早稲田大商学部に入學いたしました。

大学卒業後、第一勧銀系の日本勧業角丸証券(現みずほ証券)に入社。3年半、支店営業を経験した後、1986年海外投資家に日本株投資を推奨する海外部門に配属され、ドイツ・フランクフルト、スイス・チューリッヒ、英国・ロンドンでトータル8年半、駐在勤務をさせていただきました。その間、日本経済の隆盛およびバブル崩壊といった栄枯盛衰を肌身で感じる経験をし、公私ともに非常に貴重な時間でありました。証券会社退社後、ITや外食関連企業の役員を歴任し、現在、ネット系の証券投資顧問会社の代表を務めております。

昨年の同窓会出席は、故郷を離れて半世紀の私と生まれ故郷である羽咋との間の空白をきれいに埋めてくれるものでありました。その後、やはり同期であります岸羽咋市長とも、東京で再会し、楽しい時間を過ごさせていただきました。人間、年を取ると回想記を書きたくなる、とよく言われておりますが、同窓会も自分の人生を振り返るという意味で同様な意味を持つものであると再認識いたしました。



## ジャズの思い出

スピリッツ バッカスバレルズ 代表

前学習院父母会 事務局長 階戸 悟 (26回生) 宝達志水・杉野屋

そのミュージシャンの名を初めて意識したのは、高校2年、大野先生の英文法の授業だったと記憶している。ツイードのジャケットにニットタイという洒落た出で立ちで、学生時代の熱い思い出を語った。

「ルイ・アームストロング。通称、サッチモって呼ばれていてね、とても人間業とは思えない、しゃがれたダミ声で歌うんだよ」田舎の高校生にとって、ジャズはまだまだ大人の音楽だった。

40年ほど前、ヨコハマ・馬車道に佇む小さなバーで、老バーテンダーがこんな話をしてくれた。「昔、今の中華街近くに、進駐軍の下士官クラブがありました。『ゼブラ・クラブ』といいましてね。その中に『Stag Bar』というスタンドバーがあったんです。壁には牡鹿の首の剥製が飾られていて、それは男しか立ち入れない事を示していました。私が初めて酒に関わった場所、終戦の翌年のことです。」

彼は話を続けた。

「ある日、休憩中にトイレに入り、さて用を足そうとしたら、隣にスッと黒い影が伸びてきたんです。驚いて顔を上げると、そこには大きな黒人の顔があって、ニッと笑って“Hi!”と言うのですよ。そのときは誰だかも分からなかったのですが、その日はちょうどルイ・アームストロングが本国から慰問に来る日だったんですよ。ニッポン広しといえども、トイレでルイ・アームストロングと鉢合わせした男なんて、きっと私くらいでしょう。それがね、私のささやかな自慢なんですよ」と。

その後、朝鮮戦争、ベトナム戦争と半世紀以上米兵を相手に、カウンターの内側に立ち続けた伝説の名バーテンダーの物語である。

「1年あれば、人生はかわる。10年あれば、何にでもなれる。」そんな言葉を言ったのは、大学の寮の先輩だった。不惑を過ぎて、10年という年月には気後れを感じる年齢になったころの話である。

さて、今更ながらではあるが、「虚仮の一念」で、すこしぶとくやってみようか、と膝を正す今日この頃。なにしろ、10年あれば何にでもなれるのだから。



## 主婦が「絵」を始めてみたら

公募団体二紀会所属 丹羽 (南) 富慈子 (26回生) 羽咋・旭町

ずっと、いつか...と、思っていた「絵」を始めることにしたのは 50代後半のある日。まずは基礎から...と石膏デッサンを軽い気持ちで始めました。ところが、私が通い出した大阪市立美術館付設美術研究所(通称:美研)は美大よりもデッサン漬け、と言われるほど毎日、朝から晩まで木炭でデッサンをする道場の様な場所でした。

多くの石膏像と本格的な先人達のデッサン画の中で、周りは美大出身者、現美大生、もしくは公募展出品者等のセミプロ達がひしめき『あんた、何処の会?(どこの会派

に所属?)』と聞かれても『えっ、貝?何?!』と、問いの意味さえわからない私は初心者そのものでした。そんな中、「絵」の世界にアツと言う間に嵌まって行きました。もっと上達したい、色んな技法を知りたい、理解したいと言う欲望が湧いて、空いた時間は足繁く美研に通う様になってました(ちょっとかじってみたかっただけだったのに。)

そしてデッサンはお腹が空く物なのだと実感。一日が終わる頃にはフラフラで、良く周囲のお店に寄ったものです。当時はまだ、仕事と家事を両立しながらの美研通い。知りたい事に出会うと、時間を工面してはワークショップへ参加してました。

今、10数年が経ち、既に美研は終了。大きなキャンバスを持ちあげたり、額や木枠を組み立てたり。公募展の絵の構図に悩んだり...と。最初の頃の様に絵を描く過程は楽しいだけではなく、挫折と肯定の繰り返しです。ただ、小さな達成感と一緒に前進して行きたいと思っています。

『僕の前に道はない 僕の後に道は出来る』高校の教科書に載っていた高村光太郎の詩「道程」の一節。誰しも自分の道は自分で切り拓いていかねばならないのだと、今更に感じています。もうすぐ古希です。まだまだ迷走して行きたいです。



## 災 害

元：農林水産省新田 夏一郎（27回生） 宝達志水・北川尻

昨年の能登半島地震で実家の屋根瓦が少しずれて、ブルーシートをかけたまま一年が過ぎました。横浜にも生活の場があり2拠点生活です。この会報「絆」が発行される頃までには屋根の修理業者さんに来てほしいと願っています。

農水省という役所で主に農業用水施設などの整備の仕事をしていたので、石川県外でも長く生活しました。災害に係わることもありました。国土庁防災局(今は内閣府)という役所にいた時に、阪神大震災が発生しました。発災直後に被害の全体像がつかめず、国の初動対応が遅いとの非難が多く寄せられ、改善を迫られました。今では、自衛隊の早期の派遣やニュースで聞く「国のプッシュ型支援」(要請を

待たずに被災地へ物資を送ること)防災ボランティア活動などが行われています。

福岡県久留米市の事業現場にいた時には、熊本地震が発生しました。久留米は震度5強でした。私の6階の宿舎は、かなり強い揺れを感じました。九州新幹線は止まっていたので、休日に JR の普通列車を乗りついで、ボランティアとして熊本の避難所のトイレ掃除や高齢者宅の家財の後片付けに行きました。

現在、東京の土木設計の会社におります。能登半島地震で被災した七尾市から穴水町にかけての海岸堤防の復旧の設計のために、若い社員とともに現場調査に訪れています。地元を離れている時期が長かったので、少しでも地元のために働ければありがたいと思っております。もし若い方が読まれていれば、いくつになっても生まれたところはいいものだと思えます。

調査の際には実家に泊まりますが、ブルーシートを見上げながら、修理業者はいつ来てくれるのだろう、と思っています。



## 2025 能登愛 ライフワークで復興を願って

元全日本空輸株式会社客室乗務員

製菓衛生士・紅茶コーディネーター・ワインエキスパート

鈴木（旧姓：中前）香織（41回生） 志賀・中浜

2024年2月、志賀町(旧富来町、以下富来)から私の家に避難していた母は、あざみ野ガーデンズ内を打ちっぱなし、テニス、キッズたちのフットサルを眺めながら散歩し、覚えてたのNETFLIXを観ることを日課としていた。しかし長続きはしなかった。このままではゼーゼマン家にいたアルプスの少女ハイジのようにホームシックになるかもしれないからと言って、水道の復旧完了を毎日そわそわ待ち、近所の友人からの猛烈なラブコールを受け、玉ねぎの追肥をしないといけないと、国賓級の超VIP待遇の親孝行ができたとして自己満足する私のもとから、罹災証明書が全壊判定となった自宅にさっさと帰っていった。たった3週間で！

ちょうど今、実家は一部解体中である。解体の進捗を動画や写真でその都度確認しているが、実家の一部と、お化けがいそうであまり近づけなかった土蔵がなくなるのは、やはり寂しくて喪失感が半端ない。思い出の景色が変わってしまうのだから。

そういう私も実家が好きすぎて、将来横浜と富来の2拠点生活を計画中である。また、これまで10数年続いているお菓子和紅茶の講座に、2年前に取得したワインの資格を活かした講座が将来能登のどこかでできないものか？と考えている。母いわく、おばちゃんたちのおしゃべりする場所がないとのこと。ならば、もしそれが実現できればたくさんの方々にサロン代わりに使ってほしいと思ったりもする。また、教員免許をもっているの去年石川県教育委員会にペーパーティーチャーの登録をした。これまで育ててもらった地域への恩返しになるかな。さらに同じく富来好きの夫も去年会社を設立し、社名に富来の名前を盛り込んだ。こちらでも何かの形で町に貢献できればと考えている。

地震雲というのがあるらしい。高校在学中は地学を選択していたのに初めて耳にした。地震の前兆として空に奇妙な形の雲が現れるという。科学的な根拠はないらしいが、あの日、漁師のおばちゃんたちは確かに見たという。人は空や満月や流れ星にいろんな願いごとをしようと思うが(私はいまだにする(笑))、地震がもう起こりませんようにではなく、希望ある穏やかな日々が来ることをお願いしたい。

拙い文章ではありましたが、最後までお読みいただきありがとうございます。



## 在校生のみなさんへ

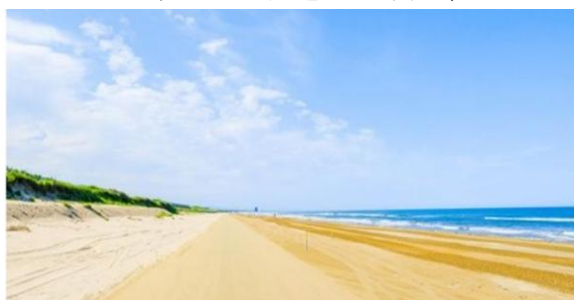
山岸 和彦 (43 回生) 宝達志水・上田出

いつも会報楽しく拝見させて頂いております。今回寄稿のお話を頂き、故郷への思い、在校生の方々へのメッセージという言葉に心が動き、筆をとらせて頂きました。

私は IT 系企業でプロジェクトマネージャを務めています。金融勘定系システムや航空システム等の社会インフラとなるシステムを構築しております。お客様と協議しながら、あるべき姿を考え、設計、構築を行うのがミッションです。社会貢献を強く感じられる仕事です。プロジェクトは 100 名を超える規模になることも多々あります。そのため柔軟なコミュニケーション力やリーダーシップ、メンバーを信頼し共創するマインドが重要になります。

私が何とかこなせているのは、故郷、特に高校時代の経験が大きいと感じています。自然豊かな環境で、多様な友人達と語らいながら、急かされることなく、自分のやりたいことをじっくり探せたのが良かったかなと思います。当時は実感することは少なく、寧ろ都会への憧れの方が強かったような気もしますが、振り返るととても幸せな貴重な時間でした。

在校生の皆さん、高校生活は美しく短いです。皆さんの当たり前の日常は、とても幸せな環境であるということを実感して頂き、一日一日を大切に過ごして頂けたらと思います。時には、私



がそうだったように、都会の情勢を耳にすると焦りを感じることもあるかもしれません。しかし、羽咋高校でしか学べない、感じられない重要なことが間違いなく沢山あると思います。焦ることなくじっくりと皆さんの進むべき道を歩んで頂けたらと思います。皆さんの未来が輝かしいものであることを心より祈念しております。そして羽咋高校同窓会の同志として一緒に頑張っていきましょう。

## 42 歳、道半ば

藤井 (立開) 裕子 (53 回生) 羽咋・川原

高校、大学、、若かったあの頃、私は得体の知れない自分という存在に悩み、持て余していました。大学卒業後は地元へ帰り結婚、子どもが産まれると、それまで頭の中を占拠していた自己への悩みはどこかへいってしまいました。(単に悩む暇がなかったのかもしれませんが)

それから志賀町立図書館で勤めはじめた私は、休憩時間に絵を描いていたことから、志賀町立図書館発行の民話絵本『庄九郎兵衛』『千ノ浦の又次』の作画を担当させてもらうことになります。その後、原画展を見にいらした小松市立「空とこども絵本館」の館長からお声かけいただき、民話絵本『こたろうぎつね』の作画を担当することに。こうして創作意欲に火がついてしまった私は、幼い頃夢中になっていた粘土人形作りを再開。2 年前 12 年間勤めた図書館を辞め、書店員の傍らアート教室を主宰し、自身の創作活動を続けています。

去年は、富来出身の作家・加能作次郎を描いた漫画『加能作次郎ものがたり』の作画を担当してもらいました。百ページ余りある漫画を描くなんて初めてのことで、これにはとても苦心しました。でもこの時のご縁で絵本の作画依頼をいただき、私にとって四冊目の絵本『すももなったら』の出版となりました。志賀町富来に住む小学生の男の子と見守り隊の心の交流を描いた絵本です。



能登半島地震で被害の大きかった富来地域。家も小学校も失われ、絵本にでてくる子どもたちのほとんどが富来を離れてしまったそうです。『加能作次郎ものがたり』も『すももなったら』も、地震前に着手し出来上がったのは地震の後でした。そんな時期に発行するという、奇しくも重みのある作品となりました。

自己に悩んだあの頃から倍の年齢を重ねた今、私という存在はやはり得体の知れないままですが、今でもこうして創作活動を続けていられることに喜びを感じています。





香港：ブルースリー像

## 神戸単身赴任日記

三菱重工株式会社 上田 耕輔（48回生）羽咋・中央

自宅のある長崎から神戸三宮での単身赴任生活がスタートして、この2月で早1年となりました。さて、昨年10月の羽咋高校同窓会関西支部総会に初めて参加したおり、関東同窓会の会報「絆」への寄稿依頼を受けました。あれは2月22日（土）夕方、長崎勤務時代からの会社先輩（こちらも現在神戸単身赴任中）と飲み始めました。阪神新在家駅→JR六甲道駅→阪急六甲駅と練り歩き、最後はスナックで気付けば8軒はしご。同じ業務を担当するその先輩が、4月1日に部長格へ昇進されるというニュースを内々に打ち明かされ、私もさぞかし高揚したのでしょう、よく飲みました。時は23時前。神戸市須磨区在住の先輩は、阪急六甲駅から電車で帰宅。単身赴任寮がある三宮方面の私は終バスが無くなり、5キロ近くの距離を徒歩で帰宅しました。

翌朝4時、胸に激痛が走り目が覚めて、記憶も徐々につながっていく中、眼球3cm前に迫るU字溝の側面が私を襲うのです。帰路の中、少なくとも2回、U字溝にはまった模様。浴室の鏡で右肩から胸、肘、膝をすりむくも顔面は無傷を確認。その日は朝から一日起き上がれず、次の日は気合いで会社へ出勤したものの、胸部激痛の為、早引きして整形外科へ通院。案の定アバラ骨ひび入りと診断され、3週間安静にしないとのこと。しかしながら、安静3週間も飲酒を続けた結果、熱心に調整していた体重が2キロ増。これじゃいかんと、3月15日コルセットを巻きながら週末ジョギングを再開すべく、復帰第一戦として単身赴任寮から阪急六甲駅までの因縁のコースをあえて選択しました。数あるU字溝をにらみつけ、往復10キロを無事完走し、不思議ながら痛く情けない経験をあえて認知克服したような気分の一瞬なれたのです。そんな自分を嘲笑しながら、その日も猥雑な神戸新開地の雰囲気にも翻弄されつつ立ち飲み屋で懲りずに痛飲。もう通院は嫌だと、少しだけ用心して帰路についたのです。気をつけんばです。



## 大学時代に学んだこと

アステラス製薬株式会社 嶋田 順太（66回生）羽咋・堀替新

私は大学・大学院の6年間を大阪で過ごし、就職を機に関東に移って早4年が経ちました。羽咋高校を卒業してから10年で、一番大きかった大学のボート部での出来事について書きたいと思います。

高校時代の私は野球部でしたが、大学では心機一転ボート部に入りました。ボート部に入った理由は、全国で勝つことを目指せる部活だったからです。

毎日合宿所に寝泊まりして朝4時半から練習し、大学から帰ってきて夜も練習し、ボート漬けの日々でした。しかし、腰の痛みを我慢して練習しすぎたあまり、入部後半年で腰椎椎間板ヘルニアを発症してしまいました。その後待っていたのは、1年間の保存治療、8時間の大手術、そして半年間の運動禁止期間という長い苦難の日々でした。周りの同期がどんどん成長して良い結果を出していく中、そもそも練習すらできない自分に劣等感を覚え、本当に辛かったことを覚えています。

そんな苦しい日々を過ごすうちに、気付いたことがありました。いつ怪我が治るのか？ など、自分でどうにもならないことで頭を悩ませることは、辛いだけで何も生まれないということです。ケガを早く治すため、良い結果を出すために、当時の自分でも取り組めることは何なのかを整理して、それを全力で取り組む事にしました。

その結果、自分ができることは全部やっていると自信がつき、劣等感を感じなくなりましたし、また楽しく部活をできるようになりました。そして最終的に大学4年の春に初めて試合に出ることができ、みんなが泣いて喜んでくれたあの光景は、今でも最高の思い出です。

現在の私は、製薬会社で新薬の研究職についています。日々大きな困難の連続ですが、ポジティブに楽しみながら前に進めているのは、この経験のおかげです。

羽咋高校に在学中の皆さんも、勉強や部活で良い結果が出ない時など、思い悩む時があると思います。そういう時は一度、モヤモヤする原因は何なのか、それを解決するためには何が必要なのか、その中で自分が取り組めることは何なのか、整理してみるといいと思います。

羽咋高校関東同窓会 名誉会長 中18 羽咋・島出  
ふるさと関東羽咋会 名誉会長  
元共栄大学客員教授

## 倉部 行雄

〒178-0063 東京都練馬区東大泉6-8-22  
Tel /Fax 03-3922-1157

卒寿プラス・6(96才)で、皆様のご多幸を祈念します。  
同窓会出席率より生存率。同窓会、欠席すれば死亡説。

石川県人会 総務委員長 高14 羽咋・粟生  
同志社女子大学 名誉教授

やま じょう  
商学博士 山上 徹

自宅：〒182-0004 東京都調布市入間市3-6-44  
Tel/Fax 03-3789-3722

ふるさと羽咋の情報をお互いに共有し、発信しましょう!

## ライフホーム有限会社

Life Home

神奈川県知事免許(7) 21721号 高15 志賀・清水  
(公社)全日本不動産協会会員

代表取締役 松田 建次  
宅地建物取引士

〒223-0062 横浜市港北区日吉本町2-22-23  
Tel : 045-564-3588 Fax : 045-561-5902  
mazda\_702@nifty.com

陽だまりに安住すること勿れ

## 松沼 医院

内科 小児科 循環器科 呼吸器科

院長 松沼 恭一

〒929-1414 石川県羽咋郡宝達市水町敷波 247  
Tel 0767-29-3188 Fax 0767-29-2991

地域医療に頑張っています!

高20 宝達志水・小川  
石川県人会 専務理事  
中村 洋行

博士(工学) 一級建築士

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3  
都道府県会館14階 石川県東京事務所内  
TEL : 03-3556-1414  
E-mail : jimukawa@isikawa-kenjin.com  
HP http://www.isikawa-kenjin.com/

高2 宝達志水・宝達

プラスチック・ガラス試作と精密加工  
分注器機 開発 制作



不二技研工業株式会社

代表取締役 西井 信夫

〒170-0012 東京都豊島区上池袋3-4-11  
Tel 03-3917-6137(代) Fax 03-3915-1313

生涯現役! 若人頑張れ!!

高10 志賀・安津見

株式会社 村田製作所 代理店

岡谷電機産業株式会社 代理店

日立エーアイシー株式会社代理店

ビシェイジャパン(株)代理店

電子部品総合商社

TM 多摩パーツ株式会社

取締役会長 大矢 昭雄

本社：〒214-0031  
川崎市多摩区東生田1-13-5 多摩パーツビル  
Tel 044-900-3801 FAX 044-900-3310

物流部：〒214-0031  
神奈川県川崎市多摩区東生田1-13-6  
Tel 044-900-3801 FAX 044-900-3310

ONE♡NESS 高19 羽咋・釜屋

株式会社ワン・ネス

犬塚 清美

〒174-0041 東京都板橋区舟渡2丁目4-3-1005  
TEL & FAX: 03-3967-1156  
E-mail: kiyomi0770@gmail.com

人生100年の時代! まだまだ楽しく生きたいですね♡

羽咋高校関東同窓会 相談役 高20 宝達志水・上田  
宝達志水関東ふるさと会 副会長  
いしかわ観光特使

赤 池 清

〒110-0003 東京都台東区根岸3-6-1  
根岸拾番館2F(株)羽興

TEL 090-1842-7573 ☑ uko@h2.dion.ne.jp



中川新校長を応援しよう!!

羽咋高校関東同窓会 高20 志賀・高浜  
副会長 兼 会計・IT担当  
いしかわ観光特使

## 南 雄二

〒252-0226 神奈川県相模原市中央区陽光台4-10-14  
Tel 080-5956-5979  
✉ yuji.minami@hotmail.co.jp

地域貢献でデジタル推進のボランティアをしています。

羽咋高校関東同窓会 副会長 高21 宝達志水・上田  
宝達志水関東ふるさと会 会長  
いしかわ観光特使

## 大 崎 繁 一

〒359-1111 埼玉県所沢市緑町4-35-6  
Tel 090-9240-9581  
✉ sfk-oosaki@msc.biglobe.ne.jp

同窓会集う阿呆に來ぬ阿呆同じ阿呆なら來なきや損々！

高22 羽咋・千里浜

## オーナー 杉浦 節美

### 風の沢ミュージアム



風の沢ミュージアムは、現代美術館、ギャラリー、  
カフェ、ショップ、里山公園からなる複合施設で  
す。

〒987-2302 宮城県栗原市一迫片子沢外の11  
電話：0228-52-2811  
<http://www.kazenosawa.jp/>  
MAIL：info@kazenosawa.jp

集まりの悪い22回生！ 年老いた顔を見せ合おう。

取締役  
学術博士 いしかわ観光特使

高25 羽咋・釜屋

## 山川 富雄



日本ケミファ株式会社

創薬研究所 埼玉県三郷市彦川戸1丁目22番地  
〒341-0005 Tel 048-952-4311 Fax 048-952-0743  
本 社 東京都千代田区岩本町2-2-3  
〒101-0032 Tel 03-3863-1211  
t-yamakawa@chemiphar.co.jp  
<http://www.chemiphar.co.jp>

関東同窓会25回生の方、是非一度参加してください。

経団連会員

高25 宝達志水・敷浪

いしかわ観光特使

## (株)ラングスジャパン 代表取締役 小林美紀



〒155-0032 東京都世田谷区代沢4-34-15  
03-5430-9181  
info@rangs-japan.co.jp



とどろき医院

本部同窓会 会長

## 轟 千栄子

〒925-0027 石川県羽咋市鶴多町切道8-4  
Tel 0767-22-7855 Fax 0767-22-0676

高27 羽咋・川原

有限会社 牛勝

高27 羽咋・川原  
携帯電話 090-8966-0848

代表取締役

## 番匠 久雄

ばん しょう ひさ お



□本社/本店 〒925-0033 石川県羽咋市川際町テ 27-3  
Tel 0767-22-0029 Fax 0767-22-8429  
□カウイン牛勝(アルブラザ鹿島) Tel 0767-76-2304

羽咋高校関東同窓会  
副会長  
いしかわ観光特使

高26 羽咋・島出

## 森村 睦子

287-0001 千葉県佐原市佐原口2097-71  
Tel:090-5214-4148

千葉県成田高校に勤務しています。ぜひ成田山へ来て！

宝達志水・杉野屋

高下謹壺法律事務所 (第一東京弁護士会)  
石川県人会 副会長  
金沢大学教育学部附属高等学校同窓会  
関東支部支部長



弁護士  
弁護士

高下 謹壺

〒104-0061 東京都中央区銀座5丁目8番5号  
ニューギンザビル10号館4階  
TEL.03-5568-6655 (代)

宝達志水町に実家があります。懐かしさで一杯です。

羽咋高校関東同窓会 会長 高27 宝達志水・上田  
宝達志水関東ふるさと会 事務局  
石川県人会 理事・稲荷第一町会 総務部長  
いしかわ観光特使

赤池 典充

〒340-0003 埼玉県草加市稲荷5-35-36  
TEL 090-2334-9276 MAIL:ntsk-aka@outlook.com

大変な時こそ、笑顔で周囲の人を元気づけて進もう！

石川県知事免許(5)第3606号

株辰実不動産

二級建築士  
石川県地震被災建築物応急危険度判定士

代表取締役 三宅 悠也



〒925-0032 羽咋市東川原町柳橋73-2  
TEL 0767(22)5789(代) FAX 0767(22)2133  
HP 090-7743-6711  
E-mail: miyake@k-tatumi.jp  
ホームページ: http://www.k-tatumi.jp

空き家の管理・手放したいとお考えの方サポートします

### オムライスカフェ「和華」

自家栽培の野菜をたっぷり使った健康的なオムライス  
一日9食限定なので、お電話ください。

営業時間 金・土・日・月 11:30~16:00

住所 石川県羽咋郡宝達志水町杉野屋井129

☎ 090-4684-6952【橋本(泉沢)敏子 高27 羽咋・千里浜】



### 不動産屋さんの空き家管理

～空き家でお困りのご実家など、建物から敷地までの管理を行なっております～

月単位から  
年単位まで

レポートや写真で  
状況のお知らせを  
行います

空気の入れ換え  
から除草も

玄関以外にも  
ご目録にのります



Instagram・ホームページよりお気軽にお問合せください  
生まれ育った故郷の景観を守るために  
ふるさと納税で空き家になっている  
ご実家の維持・保全を行いませんか？



株式会社 辰実不動産 HP



高36 吉田充基

(羽咋・吉崎) いしかわ観光特使



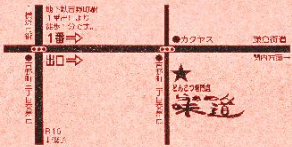
どんこつ専門店

味の道

火曜日定休

吉崎町店 〒232-0014 横浜市長谷区吉崎町2-6-19  
TEL.045-(263)0465

吉崎町店 無



### ジェラートに羽咋ギョツと 全国3位・鍋島さん店

ジェラート専門店「Raccolta Gelato ラコルタジェラート」

★日本ジェラートマエストロに認定

★2022年マエストロコンテストで3位

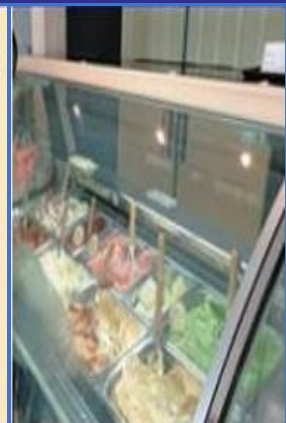
地元農家が作った旬の果物や野菜を

ジェラートで地元の人に食べていただきたい！

営業時間 木～月 12:00～18:00

住所 羽咋市東川原町柳橋74-1

☎ 0767-23-4365



# 令和7年度 羽咋高校 関東同窓会 第66回総会 懇親会 開催のお知らせ

日時:9月6日(土)

受付:11時30分～

総会:12時～12時40分

懇親会:12時50分～15時30分

会費:一般 10,000 円

29歳以下 5,000 円

学生 1,000 円

会場:明神会館(神田明神内)



羽咋高校から

中川久仁彦 校長先生(37回生 宝達志水・上田)

小山 紀彦 教頭先生(41回生 鹿西・金丸)

お世話になったみなさん

是非、ご出席をお願いします。

★Zoom 今年もオンライン Zoom 参加ができます。

Zoom 参加希望者は、事務局(發田)へ  
メールで参加連絡をお願いします。

※事務局:hotta.akira@outlook.jp

※件名:関東同窓会総会 Zoom 参加

※内容:①氏名(卒業回) ②Zoom 参加  
後日、参加用 URL をメールします。

右の QR コードからも  
出欠の連絡ができます。



## 懇親会イベント案内

さんばそう  
【アマビエ三番叟、新時代(ONE PIECE 日舞)、最高到達点(ONE PIECE 日舞)】

アマビエ三番叟ーコロナ禍に疫病退散の願いを込めて作られた新作。日本舞踊では三番叟ものというのはとてもアクロバティックな踊りです。アマビエ様の奇特にて病を退散させるめでたい踊りの後半【鈴の段】では稲穂に見立てられた鈴を振り、大地をふみしめて、五穀豊穡、健康長寿を祝し舞い納めます。

新時代(ONE PIECE 日舞)ー少年ジャンプの代表的な漫画、ONE PIECE より、ルフィとウタが登場。新しい時代の幕開けと大航海時代に海賊王を目指すルフィの航海には、幼き頃に競ったウタの面影があったのでした。コミカルな舞踊物語。

最高到達点(ONE PIECE 日舞)ールフィとウタによる総踊りです。

ひと繋ぎの秘宝ワンピースへのロマンは永遠に。

(出演:河本龍葉、星川宇宙)



## 令和5・6年度 役員名簿

令和5年9月23日より2年間

|       |             |             |             |             |
|-------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 名誉会長  | 倉部 行雄 (中18) | ★逝去         |             |             |
| 会長    | 赤池 典充 (高27) |             |             |             |
| 副会長   | 南 雄二 (高20)  | 大崎 繁一 (高21) | 山川 富雄 (高25) | 和田 智恵 (高26) |
|       | 森村 睦子 (高26) | 發田 朗 (高30)  | 北嶋 克悦 (高30) | 永島 和人 (高32) |
|       | 松波久美子 (高32) | 川村 洋子 (高39) | 松本 宝 (高39)  |             |
| 相談役   | 西井信夫 (高2) ★ | 治郎堂 實 (高7)  | 岡野 勉 (高9)   | 土田 米蔵 (高10) |
|       | 井上 猛 (高12)  | 山上 徹 (高14)  | 本多 群司 (高16) | 犬塚 清美 (高19) |
|       | 轟 暁子 (高20)  | 赤池 清 (高20)  | 中村 洋行 (高20) |             |
| 顧問    | 中島 正治 (高4)  | 大矢 昭雄 (高10) | 本吉 昭子 (高14) | 杉浦 節美 (高22) |
|       | 小林 美紀 (高25) | 河合洋嗣人 (高36) |             |             |
| 幹事    | 有川 雪子 (高20) | 渡 憲次 (高21)  | 竹川 利一 (高22) | 中村 頼蘭 (高25) |
|       | 木村 琴美 (高26) | 笹川 道博 (高28) | 中森 亮政 (高34) | 塩谷 毅志 (高36) |
|       | 吉田 充基 (高36) | 須田 雅之 (高41) | 森 圭吾 (高49)  | 河端 将司 (高54) |
|       | 上田 寛 (高55)  | 白井 悠太 (高68) |             |             |
| 監査    | 宝田 良正 (高16) | 竹川 利一 (高22) |             |             |
| 事務局   | 發田 朗 (高30)  | 北嶋 克悦 (高30) | 塩谷 毅志 (高36) |             |
| 会計    | 南 雄二 (高20)  | 木村 琴美 (高26) |             |             |
| 地元世話役 | 瀬戸 公英 (高20) |             |             |             |